

(3) 「中領域」別に見た通過率と全国比

大領域	中領域	本県通過率	全国比	
			平成7年度全国比	平成9年度全国比
1 数と計算	1-1 整数の性質	51.7 52.2	96	96
	1-2 数の表し方のしくみ	75.7 74.8	98	97
	1-3 小数と分数	38.6 41.9	90	97
	1-4 およその数を用いること	44.7 49.6	87	96
2 量と測定	2-5 いろいろな図形の面積	42.0 42.9	88	89
	2-6 体積の表し方と求め方	35.6 38.2	86	92
	2-7 およその大きさと平均	31.0 34.5	74	82
	2-8 割合のくらべ方と表し方	17.6 18.9	75	80
3 図形	3-9 平面図形	61.0 62.0	96	98
4 数量関係	4-10 円グラフ・帯グラフと百分率	44.6 46.0	106	110
	4-11 数量関係の見方や調べ方	36.7 38.7	91	96
	4-12 数量の関係を式に表し、よむこと	37.6 41.3	84	92

① 今回の調査では、「4-10 円グラフ・帯グラフと百分率」が唯一全国平均を上回っており、全国比110である。

② 前回と比べると、「1-1 整数の性質」と「1-2 数の表し方のしくみ」を除いて、すべての中領域の全国比が上昇している。しかし、「2-7 およその大きさと平均」と「2-8 割合のくらべ方と表し方」の全国比は、それぞれ82、80と低い。

(4) 授業改善に向けて

今回の調査において、大領域「量と測定」の指導に重点を置く必要があることが明らかになった。指導においては、他領域にもまして具体的な活動や問題解決学習を積極的に推し進めることが大切である。そのためには、具体的操作活動を取り入れたり、児童の知的好奇心を喚起する問題作りや問題提示を工夫したりするなどの配慮をしていきたい。

さらに、児童自らが既習事項を活用して自力解決をし、多様な考えを比較検討しながら、よりよい考